

VicOne クラウドサービス 利用規約

重要:よくお読みください。企業、行政機関およびその他の法人による VicOne のクラウドサービスのアクセスおよび使用には本規約が適用され、これに同意する必要があります。クラウドサービスは、個人向け、家庭向け、または消費者向けの利用を認めていません。ただし、お客さまと VicOne の間で VicOne のクラウドサービスのアクセスおよび利用について双方捺印または署名されたライセンス契約またはこれに類する同意書面が締結されている場合には、当該ライセンス契約が適用され本規約は適用されません。なお、お客さまが発行する注文書その他の文書に記載される追加、矛盾または異なる条件はすべて本規約から除外されるものとします。

検証および有償利用：クラウドサービスは、VicOne により所定の販売店を介して提供されるかまたは VicOne から直接提供されます。クラウドサービスは個人向け、家庭向け、または消費者向けに提供または販売されるものではありません。

適用外製品： 本規約は、次の製品またはサービスには適用されません。(a) スタンドアロンアプリケーションソフトウェア (b) ハードウェアベースのアプリケーションに組み込まれたまたはプリロードされた統合アプリケーションソフトウェア (c) VicOne が許諾するこれらのソフトウェア製品に関する年間サポートサービス。これらの VicOne 製品に関する条件は、VicOne が別途定めるビジネスソフトウェアおよびアプリケーション契約書が適用されるものとします。

本規約有効日：2023年4月1日

お客さまは、お客さまの内部業務利用のためのアクセスおよび利用を目的として、VicOne から直接またはその販売店を介して VicOne に対してクラウドサービスを注文するものとします。(1)クラウドサービスを注文すること(2)クラウドサービスの提供を受けること(3)クラウドサービスにアクセスし利用すること、のいずれかのお客さまの行為は以下とみなされるものとします。

- お客さまは本規約を読み、確認する機会を有した
- 本規約へのお客さまの同意
- お客さまが本規約に定めるすべての条件を遵守することについての VicOne へのお客さまの継続的な表明保証
- 本規約を承認し同意する者がお客さまを法的に拘束する正当な権利を有することについての VicOne へのお客さまの表明保証

お客さまは、本規約が有効に法的拘束力を持つのに書面による同意を必ずしも必要としないこと、および VicOne により記名押印された書面による別途の合意がある場合を除きいかなる書面による同意をもって当該書面の記載内容が本規約の別段の定めとして解釈される余地のないことと同意するものとします。もしお客さまが本規約に同意できない場合には、お客さまはクラウドサービスを注文、登録、適用、アクセスまたは使用することはできないものとします。本規約において使用される定義は、以下の 1.2 条のとおりです。

1. 定義

1.1.1 本規約の適用

本規約の定めに従い終了する場合を除き、本規約は、お客さまが直接または間接に VicOne に注文し VicOne が受注したクラウドサービスに適用されるものとします。

1.1.2 完全合意事項

お客さまと VicOne は、本規約（「標準的契約条件」および「データ処理付属文書」が含まれるものとし、それらは本規約の一部を構成します。）が、お客さまのクラウドサービスへのアクセスおよび使用にかかる最終、完全、唯一かつ排他的合意を形成するものであって、方法または形式を問わず他の同意、表明や慣行その他に優先して適用されることに合意します。

1.1.3 クラウドサービスの購入

お客さまは、以下いずれかの方法によりクラウドサービスを購入することができます。

- 販売店経由の購入。お客さまは、販売店を通じて VicOne に対してクラウドサービスを注文することができます。当該注文は VicOne の裁量により受注されたまたは拒否される場合があることを確認するものとします。販売店とお客さまとの間の価格および支払い条件等の合意事項を除き、お客さまが注文したクラウドサービスにかかる一切の権利、義務、条件、制限および除外事項には本規約が適用されます。お客さまによるクラウドサービスに関する一切の支払いが直接または間接されるものとします。販売店は、いかなる場合であっても VicOne の合併企業、受託業者または代理人とはみなされず、また、VicOne を拘束する契約上の義務、責任、法的義務、負債、保証ならびに契約を成立させる権利、もしくは VicOne の権利を放棄または破棄する権利あるいは本規約に定めるお客さまの権利、義務または合意を変更する権利を有するものではありません。
- VicOne からの直接購入。お客さまは、VicOne が承認する場合に限り、VicOne に直接クラウドサービスを注文することができます。VicOne が直接受注する場合は、VicOne 所定の価格および支払い条件に基づき、お客さまはクラウドサービスにかかるすべての支払いを VicOne に直接行うものとします。

1.1.4 継続的売買取引基本契約でないことと確認

お客さまは、本規約がクラウドサービスの購入にかかる継続的な取引基本契約にあたるものではなく、お客さまによる都度のクラウドサービスの注文に対してのみ適用されることを確認するものとします。VicOne とお客さまの別途の書面による合意のない限り、お客さまによるクラウドサービスの最初の注文以後の注文についてはその当時における最新版の本規約の条件が適用されるものとします。

1.2 定義

本規約においては、本条に定める各用語の定義に従うものとします。

「管理者」とは、お客さまのためにクラウドサービスを管理する権限を持つ 1 人以上のお客さまの従業員を意味します。すべての管理者は、適時お客さまの判断により全部または一部のクラウドサービスについて、お客さまの設定を開発し、維持し、お客さまのルールおよびポリシーを策定し、お客さまのアクセスを管理し、生成されたアラートやイベントを表示し、またはお客さまへの技術サポートを提供する権限を有するものとします。

「関連会社」とは、お客さまにより支配される者を意味します。「支配」とは、取締役その他の役員を選任議決権ないし同等の権限のある株式または持ち分の 50% 超を直接または間接に所有し（50% 超の所有が認められない場合は、適用法により認められる最大数の株式を所有し）かつ当該所有関係の存在が継続中であることを意味します。ただし、相手方の要請がある場合には、各当事者はすべてまたは一部の関連会社の状況を相手方への書面により確認するものとします。

「適用法」とは、本規約に基づく当事者の義務の履行または権利の行使に対して適宜適用される法律、条例、施行令、法令、規則、条約、命令、訓令、通達、意見書、解釈書およびその他の公式発表（データ/プライバシー保護法、腐敗防止法/贈収賄法、経済/貿易制裁法ならびに輸出入に関する法規制を含みますがこれらに限定されません）を意味します。

「ライセンス証書」とは、VicOne により発行される本規約に基づきお客さまによって購入されたクラウドサービスならびに適用可能な適用サービス範囲を含む電子的またはその他の方法による書面の承認または資格の確認を意味します。当該証書および本規約は、本規約に基づき購入されたクラウドサービスについて VicOne とお客さまの完全な合意を形成します。お客さまは、クラウドサービスに対する資格の証明として証書を保管するものとします。

「クラウドサービス」とは、お客さまが VicOne より直接または販売店を介して間接に購入し、お客さまがアクセスまたは使用するクラウドセキュリティサービスの環境を構成する一切の VicOne 所定のハードウェア、ソフトウェアコンポーネントまたは所定の範囲、技術サービスまたはマネージドサービス（当該クラウドサービスにおいて VicOne によってまたは VicOne に代わってホストされるサービス利用ソフトウェアおよびその一部を形成するインフラまたはプラットフォームを含む）の組み合わせを意味します。

本規約が適用されるクラウドサービスは、対象製品とします。クラウドサービスには、クラウドサービスにかかる一切のサービス仕様書、サービス利用ソフトウェア、テクニカルサービス、マネージドサービス、およびすべてのコンテンツ、成果物、エラー修正、アップデート、アップグレード、新バージョンもしくはサポートサービス等により生じた当該クラウドサービスの一部を構成するその他のリリースならびに VicOne が当該クラウドサービスのカスタマー（利用者）に提示する VicOne のサポートサイトににて利用可能なすべてのコンテンツおよび機能を含むものとします。なお、本規約はお客さまに対して、クラウドサービスの一部を構成する VicOne 公開のサービス利用ソフトウェアを除くソフトウェアのバイナリコードのコピーを要求したり取得したりする権利を付与するものではありません。

「クラウドサービスフィードバック」とは、お客さまが口頭または書面フォームによって VicOne によって提供されるクラウドサービスに関するコメント、提案、デザイン変更または改善等にかかる事項を意味します。

「お客さま」とは、(a) 本規約に合意し (b) 本規約の下でライセンス証書により証明される内容に従いクラウドサービスのアクセスおよび利用にかかる権利を購入しかつ現在もこれを有する (c) 本規約が終了またはその他の利用により失効していない事業体を意味します。

「お客さまによる設定」とは、4.1.3 条の定義に従い、お客さまがクラウドサービスにおいて随時、お客さまの自身の必要に従ってお客さまデータが処理されるように、サービス仕様書に記載される各オプション機能をアクティブ、設定、制限および無効化するものとします。

「お客さまデータ」とは、(a) 本規約に基づき提供されるクラウドサービス環境にお客さまがもしくはお客さまに代わってアップロードされたまたは転移された、または (b) その他お客さまがクラウドサービスまたはサポートサービスを受け、利用またはアクセスする過程において VicOne に提供しまたは利用させるすべてのコンテンツ、資料、データおよび情報を意味します。

「秘密情報」とは、6.1 条に定める意味を有します。

「委託先」とは、本規約に基づき提供されるクラウドサービスに関して、お客さまとの書面合意に従い当該委託先によるクラウドサービスへのアクセスまたは使用の範囲について本規約を完全に遵守する義務を負うお客さまを支援する役務を提供する委託先を意味します。

「管理技術」とは、10.4 条に定める意味を有します。

「サイバー脅威データ」とは、お客さまの意に反するマルウェア、スパイウェア、ウイルス、ワーム、トロイの木馬、ランサムウェア、その他の潜在的に悪意のあるまたは有害なコードまたはファイル、もしくは URL、DNS データ、ネットワーク情報収集、コマンド、実行可能なバイナリファイル、マクロ、スクリプト、プロセスまたはテクニカル、メタデータ、またはこれらに関連するその他の情報またはデータであり、また第三者による不正侵入または攻撃に関わる可能性のあるものであって、(a) 本規約に関連してお客さまが VicOne に提供するもの、または (b) クラウドサービスの提供過程において VicOne によりアクセス、収集または発見されるものであってお客さまを特定しうるまたは個人データを含む情報を除くものを意味します。サイバー脅威データは、本規約における秘密情報またはお客さまデータにはあたりません。

「データ処理付属文書」または「付属文書」とは、VicOne がお客さまに対して GDPR データの処理者または副処理者（GDPR の定義に従う）として行動する場合に限り適用される VicOne のデータ処理付属文書（trendmicro.com/dpa に公開またはお客さまが legal_notice@trendmicro.com から要求する）を意味します。両当事者は、データ処理付属文書およびその一部を構成する標準契約条件が本規約に組み込まれるとともに、本規約の一部とみなすることに同意するとともに本規約に定める条件および制限に従うものとします。

「別条件」とは、2.2 条に定める意味を有します。

「サービス利用ソフトウェア」とは、VicOne により随時公開されるとともに本規約に基づき権利許諾され、管理コンソールやユーザーインターフェースなどのクラウドサービスのアクセスまたは使用を容易および最適化するためにお客さまのデバイスにインストールされるバイナリコードのソフトウェアエージェント、クライアントまたはツールであって、クラウドサービスにアクセスし使用する有効な権利なくして機能が実行されないものを意味します。サービス利用ソフトウェアは、サービス仕様書において特定される場合とされない場合があります。

「実利用者」とは、(a) 本規約に従いお客さまの利益のためにクラウドサービスにアクセスまたは使用する、例えばお客さままたはお客さまの関連会社の内部業務を遂行するためのお客さまの管理者、技術/サポート人員または従業員/委託先等によるアクセス/使用、または (b) その他のクラウドサービスをアクセスまたは使用する。（直接または他ユーザーを介して間接問わず）個人、事業体のすべてを意味します。

「評価サービス」とは、2.3 条に定める意味を有します。

「不可抗力免責事象」とは、天変地異、戦争、テロ、争議行為、犯罪行為、武力紛争、民間または政府の作為、地震、火災、洪水、サイバー攻撃、ネットワークへの侵入、ゼロデイ脅威/攻撃、民間または国家によるハッキング行為、DoS 攻撃、もしくはその他の悪意ある行為、通信/インターネットの混雑、遅滞または停止、VicOne の所有、管理または責任範囲ではないハードウェア、ソフトウェアまたはサービスに関連するコンピュータ、ネットワークまたはシステムの障害または遅延、などこれらに限られず、予測可能であったとしても避けられない VicOne の合理的な支配、管理および責任を超えたイベント、条件、状況、または、労働者のストライキ、禁輸またはボイコットを意味するものとします。

「GDPR」とは、GDPR の対象となり GDPR により規制され GDPR によって保護される個人データにのみ適用される EU 一般データ保護規則を意味し、GDPR に基づきまたは GDPR を補完するために、EU、加盟国またはその他の政府機関によって現在または将来にわたって交付される追加の法令、ルール、規則ならびに随時交付されるこれらの修正版、補足版および代替版を含みます。また、「管理者」、「処理者」および「データ主体」とは、GDPR において付与された意味を有するものとします。

「GDPR データ」とは、本規約に従いお客さまが VicOne に提供し利用させる GDPR 上の個人データ（GDPR 4 条に定義）を意味します。ただし、VicOne による当該個人データの処理について GDPR が VicOne に適用される場合に限られるものとします。

「GLOBAL PRIVACY NOTICE」とは、https://www.trendmicro.com/en_us/about/legal/privacy-policy-product.html で随時公開されるかまたはお客さまの要請に従い legal_notice@trendmicro.com より提供されるトレンドマイクロの GLOBAL PRIVACY NOTICE を意味します。

「ハイスコア環境」とは、直接的または間接的な障害が、人身事故、死亡事故、物的損傷または環境破壊につながる恐れのある環境において、安全かつ確実なパフォーマンスを維持するため、フェールセーフまたはフォールトトレラントな運用または実行のための安全な設計、機能が要求されるデバイス、状況、環境、ネットワークまたはシステムを意味します。ハイスコア環境には、以下のようなものが含まれますがこの限りではありません。

- 原子力施設、発電所や水道などの公共インフラ、製造施設、化学製油所などの工業プラントの設計、建設、運用、保守
- 航空機、船舶、列車、その他の交通手段におけるナビゲーション、通信、運用システム

- (c) 航空管制システム
- (d) 核兵器かどうかを問わず兵器システム
- (e) 患者の健康や良好な状態に影響を与える生命維持装置や生命にかかわる医療機器またはその他の危機およびシステムの運用
- (f) クラウドサービスの利用不能、不正確、迂回、非効率または障害により、人身事故、死亡、物的損害、環境破壊につながるまたは助長する恐れのあるその他の機器、環境、ネットワークまたはシステム

「インスタンス」とは、ソフトウェアのセットアップまたはインストール手順を実行することにより、またはそのようなイメージを複製することにより生成されたソフトウェアのイメージを意味します。

「内部業務利用」とは、お客さまのシステム、ネットワーク、デバイス、ドキュメント、Eメールまたはその他のお客さまのデータにかかるセキュリティの保護または保全に関するお客さま自身の直接の利益のためのクラウドサービスの内部業務のためのアクセスや使用を意味します。

「IP クレーム」とは、本規約に基づき提供されるクラウドサービスまたはその構成部分（オープンソースソフトウェアを除く）のお客さまの利用に対し、第三者の特許、著作権、または商標の直接侵害、または当該第三者の企業秘密の違法使用を主張する、日本国内における第三者によるお客さまに対する法律上の訴訟またはその他の法的手続きを意味します。ただし、それらの第三者による主張が具体的にクラウドサービスに対してなされない限り、「IP クレーム」にはあたらないものとし、VicOneはいかなる義務も負いません。

また、以下に関連する訴訟、請求またはその他の法的紛争は「IP クレーム」にはあたらないものとし、10条その他の規定に基づきVicOneが義務を負うことはありません。

- (a) 本規約またはサービス仕様書または適用法に反するお客さまによるクラウドサービスの利用
- (b) クラウドサービスの利用に関してお客さまが提供または利用可能にするお客さまデータまたはその他の資料
- (c) 本規約に明示的に許諾されていない第三者の利益のためのクラウドサービスの再配布またはクラウドサービスの利用
- (d) お客さまが更新したまたは利用可能となったサービス利用ソフトウェアの利用について、当該サービス利用ソフトウェアの元のバージョンを使用することによってIPクレームが回避される場合
- (e) 一切のオープンソースソフトウェア
- (f) クラウドサービスまたはそのアウトプットに対してなされた第三者による主張であって、VicOneが提供するものではないかまたは適用されるサービス仕様書によって特に要求されないその他のソフトウェア、サービス、ビジネスプロセスまたは技術の組み合わせに関するお客さまのクラウドサービスの利用であって、それらの組み合わせがなければIPクレームが主張されないかまたは回避がされたであろうものを含む。

「オンラインストアプロバイダ」とは、オンラインマーケットプレイスまたはストア（それぞれ「ストア」といいます）を運営し、商品等を販売する以下の事業者を意味します。

- (a) 顧客（例えばお客様など）との別途の契約および別途のサービス料により、当該顧客へのインフラストラクチャ（IaaS）またはプラットフォーム（PaaS）のホスティングサービスを行う事業者。
 - (b) 当該事業者がストアのインフラストラクチャまたはプラットフォームに展開し、第三者（VicOneなど）発行のソフトウェアアプリケーションを別途のロイヤリティ/料金で顧客に提供および再販する事業者。この場合アプリケーションソフトウェアの発行者は顧客に対して限定期間および永久ではないライセンスを付与します。
- お客様は、オンラインストア提供者のストアにおいてお客様が購入したVicOneのアプリケーションソフトウェアの導入、アクセスおよび使用に関するライセンスは、本利用規約の対象ではなく、VicOneが別途定めるビジネスソフトウェアおよびアプライアンス契約、またはトレンドマイクロが随時ストア一覧に掲載するその他の契約に準拠することを認め、同意するものとします。

「オープンソースソフトウェア」とは、以下を意味します。

- (a) オープンソースイニシアティブまたはこれに類するオープンソースまたはフリーウェアであって、本規約以外で権利許諾または頒布される第三者のソフトウェアコードまたはコンポーネント
- (b) VicOneのクラウドサービスまたはサービス利用ソフトウェアに含まれるものであって、例えば以下のよう なオープンソースイニシアティブに認められたライセンス契約
 - (i) GNUのGeneral Public License (GPL)、Lesser/Library GPL (LGPL)およびGNU Affero Public License
 - (ii) Artistic License (PERL)
 - (iii) Mozilla Public License
 - (iv) Netscape Public License
 - (v) Mozilla Public License
 - (vi) Netscape Public License
 - (vii) Berkeley software design (Free BSD or BSD-style licenseを含む)
 - (viii) Sun Community Source License (SCSL)
 - (ix) an Open Source Foundation License (CDE and Motif UNIX user interfacesなど)
 - (x) Apache Server license
 - (xi) MIT License

なお、いずれの個人、第三者のオープンソースソフトウェアのソフトウェアコードまたはコンポーネントも、独自の著作権およびライセンス契約を有しています。

「オプション機能」とは、VicOneがGDPRデータや個人データなど特定のお客さまデータを処理することを必要とするクラウドサービス上の各種機能であって、オプトインまたはオプトアウトする権利がサービス仕様書に明記されたものに限り許容される限りにおいてお客さまが当該機能のオプトインまたはオプトアウトを選択することができるものを意味します。例えば、当該オプション機能を有効にするクラウドサービスにおいて以下が可能となります。

- (a) サービス仕様書に明記される機能の提供
- (b) 最新の悪意ある振る舞い、詐欺サイトの可能性、インターネットセキュリティリスクまたはサイバー脅威データを検知し防御するための最適かつ最新の防御および機能の提供

「注文」とは、以下を意味します。

- (a) 見積りに応じてお客さまによって発行される注文書その他の発注書類
 - (b) 本規約の定めに従い提供されるクラウドサービスの調達のために販売店またはVicOneとの間でお客さまが都度発注するお客さまの調達書面
- すべての注文は注文書に記載のクラウドサービスの購入および支払いのための顧客による撤回不能な意思表示であって、VicOneの裁量により直接または間接の受注がされる場合、受注は、当該クラウドサービスについてお客さまへVicOneが発行するライセンス証書またはその他のVicOneの承諾の表明によりされるものとします。

「当事者」とは、お客さままたはVicOneのいずれか一方または両者を意味し、その他すべての者は第三者となります。

「個人データ」とは、自然人のプライバシーおよびこれに関する権利の保護を目的とするGDPR等の適用法により規制、保護、制限または管理される直接または間接に自然人を特定しうる、特定のまたは特定される自然人にかかる1個または複数のデータ要素を意味します。

「見積り」とは、VicOneまたは販売店がお客さまに対して発行する、お客さまが取得を希望するクラウドサービスにかかる価格、支払い条件、提供サービス範囲およびその他の取引を完了するのに必要かつ十分な情報が記載された1通以上の文書の意味します。

「販売店」とは、VicOneまたはその販売代理店が、お客さまを含む顧客からのクラウドサービス販売の受注することを認めた再販売店、システムインテグレータ、独立系ソフトウェアベンダー、VAR、OEMまたはその他のチャネルパートナーを意味します。

「サンドボックス化」とは、VicOneによって運用される外部のセキュアードコード実行環境を意味し、クラウドサービスが選別するサイバー脅威データの疑いのあるお客さまデータを調査することを可能にします。

「サービス範囲」とは、本規約に基づき購入したクラウドサービスに適用される仮想マシン数、インスタンス数、実利用者数、スループット量、Eメールアドレス、ノード数、その他の指標、またはその他の計測メカニズムならびにサブスクリプション期間であって、ライセンス証書に記載されるものを意味します。お客さまが購入したクラウドサービスのサービス範囲を超過して利用する場合には、お客さまは直ちに追加利用分を購入するとともに追加料金を支払うものとします。

「サービス仕様書」とは、お客さまの内部業務におけるクラウドサービスの利用を支援する目的で、クラウドサービス（サービス利用ソフトウェアがある場合はこれを含む）に関してVicOneよりお客さまに提供される印刷、電子的またはオンラインにより提供される技術文書、操作説明書および仕様書を意味します。

サービス仕様書は、本規約に組み込まれるとともに本規約の一部を構成します。お客さまは、サービス仕様書がクラウドサービスの変更、改良または新しいバージョン等によってVicOneの裁量により随時改訂される場合があること、ならびに改訂されたサービス仕様書はクラウドサービスの使用にあたってそれ以前のすべてのサービス仕様書に優先して適用されることに同意するものとします。一部のクラウドサービスについては、VicOneにより随時公表されるかまたは他の方法により提供されるサービスレベル目標またはサービスレベル要件の対象となる場合があります。

「サブスクリプション期間」とは、本規約に基づきお客さまに提供されるクラウドサービスにアクセスおよび使用することのできる月、年単位の一定期間を意味します。サブスクリプション期間は、ライセンス証書に記載のとおりとなります。

「サポートサービス」とは5.1条に定める意味を有します。

「期間」とは、8.1条に定める意味を有します。

「トレンドマイクロ」とは、直接または間接にVicOne Inc.の総株主の議決権の過半数を有し、その経営を支配している日本を所在地とするトレンドマイクロ株式会社およびその海外関連会社を意味します。

「VicOne」とは、本規約に基づきクラウドサービスを提供しそのライセンスを許諾する台湾を所在地とするVicOne Inc.を意味します。

「仮想マシン」とは、物理的マシンのように、固有のオペレーティングシステムおよびアプリケーションを実行する、ソフトウェアコンテナ、実装ならびにコンピュータ/サーバ/マシンなどの物理的デバイスのエミュレーションを意味します。

2. クラウドサービスの許諾、サービス利用ソフトウェアのライセンス、オープンソース、セキュリティの認識、評価

2.1 権利の許諾

2.1.1 クラウドサービスのアクセスおよび使用の許諾

VicOneは、本規約およびライセンス証書をお客さまが遵守することを条件として、本規約に基づき許諾される権利の有効期間中、お客さまが購入したクラウドサービスに適用される期間およびサービス範囲においてのみ、お客さまの内部業務利用および2.11条に従い認められるお客さまの関連会社または委託先の内部業務利用のために、サービス仕様書に従ってクラウドサービスにアクセスし使用する非独占的、譲渡不能、再許諾不能な権利をお客さまに対して許諾します。お客さまは、サービス仕様書を含め、本規約において具体的に認められた目的においてのみクラウドサービスにアクセスし、使用することができます。

2.1.2 サービス利用ソフトウェアのライセンス

クラウドサービスにサービス利用ソフトウェアが付属する場合、お客さまは、当該クラウドサービスへのお客さまのアクセスおよび使用を容易にしたり有効にしたりする目的のみ、当該サービス利用ソフトウェアを使用することができます。

本規約に従い、VicOneはお客さまに対し、2.11条に別段の承認がある場合を除き、お客さまの内部業務利用の目的に限り、サービス仕様書に従ったクラウドサービスへのアクセスまたは使用に必要な限りにおいて、お客さままたはお客さまの代わりに所有または運用される機器にサービス利用ソフトウェアをインストールして使用する非独占的、譲渡不能、全世界における、有限の権利を許諾します。ただし、お客さまは、以下の条件に従うものとします。

- (a) 本規約およびサービス仕様書の条件を常に遵守すること
 - (b) 実利用者を含むクラウドサービスに関連してサービス利用ソフトウェアにローカルまたはリモートでアクセスまたは使用するすべての者に対し、(i)お客さままたはお客さまにより承認される関連会社の利益においてのみ、かつそれらに代理としてのみアクセスまたは使用し(ii)本規約の条件を遵守させること
 - (c) (i)サービス仕様書および本規約において明示的に許諾される場合を除き、サービス利用ソフトウェアをインストール、アクセス、使用、複製、改変または頒布しないこと(ii)サービス利用ソフトウェアをリバースアセンブル、リバースコンパイル、その他翻訳またはリバースエンジニアリングをしないこと
 - (d) サービス利用ソフトウェアのコンポーネントをサービス利用ソフトウェアのコンポーネント、ファイル、モジュールまたはライブラリとして複製、再配布または再配布しないこと
- お客さまは、サービス利用ソフトウェアは著作権で保護されるとともにライセンスされるものであって本規約の下でお客さまに対して売却されるものではないこと、ならびにお客さまは本規約のもとで、いかなるVicOneまたは第三者のライセンス、権利、権限、または利益も供与されないことを確認するものとします。2.1.2条においてお客さまに明示的に許諾される権利を除き、お客さまはサービス利用ソフトウェアについて他のいかなる権利も有さないものとします。お客さまは、サービス仕様書において認められる範囲においてのみ、バックアップ、アーカイブおよび障害復旧の目的でサービス利用ソフトウェアのコピーの一部を作成することができます。

2.2 オープンソースソフトウェア

サービス利用ソフトウェアはバンドルされるかまたはオープンソフトウェアとともに配布されるものとし、オープンソースソフトウェアには、本規約は適用されず、サービス利用ソフトウェア内においてVicOneより配布される当該オープンソフトウェアの所定のライセンスにかかる契約条件、条件、制限および免責（以下「別条件」といいます）が適用されるものとします。本規約に基づき提供されるサービス利用ソフトウェアにおいて再配布されるオープンソースソフトウェアに適用される別条件がある場合、VicOneはサービス仕様書またはサービス利用ソフトウェア内のReadMeまたはAboutファイルによりこれを特定します。

オープンソースソフトウェアは、現状有姿で販売のないことを保証せず、また提供可能な場合に提供できる限りにおいてVicOneによって提供され、VicOneは明示的にも黙示的にもその他の方法によっていかなる商品適格性、特定目的適合性、満足できる品質、権利または非侵害その他事項についても一切保証しません。本規約に異なる定めがある場合でも、オープンソースソフトウェアに起因または関連して生じるすべてのクレームまたはオープンソースソフトウェアの使用に起因する一切の損害について、仮にそのような損害の可能性について既知であっても、原因の如何を問わずまたいかなる法的責任の根拠にもかかわらずVicOneは一切の責任を負いません。

2.3 クラウドサービスの評価（検証）

お客さまが本規約に同意したうえでクラウドサービスの評価、試用、POC（概念実証）または検証（以下、総称して「評価サービス」といいます）の権利を許諾された場合、本条の定めは本規約において他の矛盾する条件に優先して適用されます。

ViOneの別途の書面または別途所定の手続きによる合意がある場合または9条もしくは10条の定めに基づき期限内解約をした場合を除き30日を超えない期間中、お客さまはViOne所定の手続きに従って評価サービスの検証を実施する権利を得るものとします。当該期間中お客さまは、お客さまの内部業務利用のためにお客さまの実際のお客さまデータへアクセスしたりその他の実験作業を実施したりするような本環境域以外の環境において内部評価をする場合限り、評価サービスにアクセスしまたは使用することができません。評価サービスはViOneにより無償にて提供され、ViOneは評価サービスについていかなるトレーニングまたはサポートサービス提供しませんが、ViOneの独自の裁量によりこれらを提供する場合があります。お客さまは、評価サービスは、ViOneにより、提供可能な場合に提供できる限りにおいて、現状有姿または取壊のないことを保証しない状態でお客さまに対し提供されるとともに、ViOneは評価サービスに関連する一切の保証、条件、補償およびすべての責任を負いません。

本規約のもとで理由の如何を問わず評価サービスに関して、ViOne、ViOneのライセンサーおよび供給者が負担する責任の総額は、100.00米ドルを上限としました。お客さまが、2.3条に定める評価サービスの有効期間満了後にクラウドサービスにアクセスしまたはそれらを使用した場合、お客さまはViOne所定の料金に従い有効期間満了以降の料金を支払うものとし、当該有償利用には本規約が適用されるものとします。

2.4 セキュリティの保護

クラウドサービスの一部は、コンピュータ、システムまたはネットワークの生産性、パフォーマンスまたはセキュリティを危険にさらす可能性のあるアプリケーション、メッセージおよびファイル特定し、ブロックまたは削除するように設計されています。ViOneはクラウドサービスに対して検知可能なアプリケーションやファイルを適切に特定するにあたって商業的に合理的な努力を尽くしますが、悪意ある、詐欺的または不要な電子コンテンツの性質または量が常に増加していることから、ViOneは、すべての悪意ある、詐欺的またはお客さまが使用しないもの、またはお客さまが使用しないもの、またはお客さまが使用しないもの、またはお客さまが使用しないものを検知、ブロックまたは完全に除去することを表明、保証または補償することはありません。また、そのようなものはありません。

お客さまは、セキュリティへの努力がお客さまの管理および責任の下にある複数の要因に依拠することを認識するとともにこれに同意するものとします。例えば

- 現在および将来のセキュリティ脅威に対処するために複数のネットワーク、ハードウェア、クラウドサービスおよびソフトウェアセキュリティツールを選択し連携して利用すること
- サイバーセキュリティのペネトレーション、制御、ネットワーク、クラウドサービスおよびシステムの保護、ならびにそれらに適用される監視および検知プロセスの実装
- データへのアクセス、セキュリティ、暗号化、使用および送信にかかる適切な内部セキュリティポリシー、手順および制御の実施
- (i) ネットワーク、システム、ソフトウェア、データおよびすべての保存データのバックアップまたは復旧または(ii) セキュリティ違反インシデントへの対応の演習のための継続的なプロセスおよび手順の開発および継続的な検証

- 従業員への定期的なサイバーセキュリティおよびプライバシー研修の実施
- 十分なベンダーリスク管理プロセスを有すること
- 発行者または製造業者によりお客さまに提供されるすべてのネットワーク、製品およびソフトウェアの更新プログラムの速やかなダウンロードおよびインストール

2.5 所有権および権利の留保

クラウドサービスはViOneおよびそのライセンサーまたはサービスプロバイダの排他的財産として留保されます。本規約に基づき明示的に許諾されたお客さまの限定的なアクセス権および使用権ならびに2.1.2条において許諾されたサービス利用ソフトウェアの限定的な使用権を除き、クラウドサービスにおけるもしくはクラウドサービスに対するいかなるライセンス、権利、権原または利益またはそれらにおけるトレンドまたはそのライセンサーの知的財産権もお客さまに付与されません。

クラウドサービスおよびクラウドサービスに用いられているすべてのアイデア、方法、アルゴリズム、数式、プロセスおよびコンセプト、すべての改訂、修正、是正、強化拡張、二次的著作物、リリースおよびアップグレードおよび本規約およびクラウドサービスの下でViOneまたはViOneに代わって提供または開発された（例えば、お客さまデータとともにクラウドサービスに提供されるすべての脅威データの解析の性能など）その他一切ならびにそれらすべての複製物は以下に該当するものとします。

- ViOne、その関連会社またはそれらのライセンサーまたは供給者の知的財産権であること
- それらにおけるすべての権利、権原および利益はViOne、そのライセンサーまたはViOne判断による他の者に留保されるとともに単独の財産であること。

お客さまは、クラウドサービスのすべての部分におけるViOneまたはそのライセンサーの著作権表示およびその他すべての所有権の説明を変更または削除しないものとします。

2.6 クラウドサービスの変更および改修

ViOneは、法令、規制、規則、技術、業界慣行、利用形態およびサイバー脅威の環境や性能等の変化を反映するために、本規約期間中、クラウドサービスのインフラ/プラットフォーム、機能、セキュリティ、技術構成またはアプリケーション機能などの継続的に改善し、アップデートし新しいバージョンを提供する権利をViOneの裁量において留保するものとし、当該留保については一切の通知または同意取得を要しないものとします。クラウドサービスの当該改修、変更または新しいバージョンは、本規約に準拠するものとし、また、本規約への違反とみなされたり本規約に基づき支払われたり本規約に基づき支払われたり本規約の一部または全部についてお客さまに返金の権利を付与したりするものではありません。一方で、お客さまがそれらを使用する際に、追加条件へのお客さまの同意が必要となる場合があります。

2.7 エンドオブライフ (EOL)

ViOneは、対外的なアナウンス、通知の公表または価格表の改訂によって、理由を問わずいつでもクラウドサービスの公開、販売、配布、サブスクリプション、権利許諾またはサポートを中止（以下各事象を「EOL」といいます）する権利を留保します。ViOneの現時点のEOLポリシーおよび現時点のEOL通知の対象となるクラウドサービスのリストはhttps://vi-one.com/static/End-of-Life_ViOne_Products.pdfを参照してください。両当事者は、いずれのクラウドサービスのEOLアナウンスもViOneによる本規約に対する違反とはみなされず、また当該EOLによってお客さまが損害賠償請求する権利を主張できるものではありません。

2.8 禁止行為

お客さまは、サービス仕様書または本規約によって明示的に許諾される以外のクラウドサービスの使用その他いかなる行為も行わないものとします。また、お客さまは以下を第三者に対して承認したり、促したり、許可したりしないものとします。

- お客さまのクラウドサービスの利用を計測する課金の仕組みを無効化、改ざんまたはその他の方法により回避しようとする、課金の回避を意図するもしくはライセンス証書に記載されるサービス範囲を超えるクラウドサービスの利用、またはその他の方法によりクラウドサービスに不正アクセスしようとする
- クラウドサービスの環境の調査、スキヤニングまたは脆弱性テストを試みる、クラウドサービスにおけるまたはクラウドサービスに使用されているセキュリティまたは認証を侵害しようとするなどを含む本規約に基づく許可のない一切の使用およびアクセス
- サービス利用ソフトウェアについて本規約において明示的に許可される場合を除き、クラウドサービスの全部または一部、またはそのコンポーネントの翻訳、逆アセンブル、逆コンパイル、またはリバースエンジニアリング、もしくはクラウドサービスの全部または一部のソースコードの抽出、復号化、変更または派生物の作成を試みる。ただし、サービス仕様書に定めるポリシー/プラットフォームにおいてお客さまは複製を作成するためにクラウドサービスの設定をすることは変更や派生物の生成にあたるものではありません。
- 2.11条に明示される場合を除く、クラウドサービスの全部または一部の利益にかかる第三者に対するライセンス、サブライセンス、販売、再販、ローン、レンタル、リース、譲渡、頒布
- 以下のようなクラウドサービスの利用
 - 業務委託のように有償または無償のサービス事業者として第三者に対して直接または間接にサービスを提供すること
 - 時間単価による第三者に対するサービスを提供すること
 - (iii) 2.11条の定めのおおむねその他の商業的悪用または第三者にクラウドサービスを利用させること
- 構築、サポートまたは第三者への構築またはサポートの支援、競合する製品またはサービスの改良または製造、または理由を問わずクラウドサービスのアイデア、機能、構成、構造、グラフィックまたはユーザーインターフェースのコピーするためにクラウドサービスまたはそのコンポーネントにアクセス、評価、観察または使用すること
- 以下のようなクラウドサービスの利用
 - 適用法に違反するかその他の違法、有害、詐欺、攻撃的使用に関わるかもしくはこれらを促進するような方法、または違法、有害、詐欺的または攻撃的なコンテンツを送信、保存、表示、配布またはその他の方法により提供すること
 - 第三者の知的財産権またはそれを侵害または不正流用する方法またはその他本規約に違反するような方法
 - (iii) 第三者によるクラウドサービスの利用妨害
 - (iv) クラウドサービスの提供のための本来の機器の機能および環境を侵害すること
 - (v) クラウドサービスの提供のための本来の機器の機能および環境を侵害すること
- ViOneによる明示的な書面による許可のないクラウドサービスに関する一切のベンチマークテスト、パフォーマンス分析を公開またはその他の方法により提供すること

ViOneは、本条の定めと反する疑いまたはクラウドサービスの不正利用に対する調査をすることまたはお客さまが前(a)から(h)に違反した場合、お客さまによるクラウドサービスのアクセスの一時停止、削除または無効化を含む救済措置を講じる権利を留保します。さらに、お客さまは、ViOneが適用法に違反する疑いのあるすべての行為について適切な法または規制の法執行機関に報告し、また当該適用法に基づき要求される協力をすることについて同意するものとします。なおViOneが善意により当該行為を行った場合、ViOneはお客さまに対して損害賠償その他の責任を負いません。

2.9 ハイリスク環境

クラウドサービスは、フェールセーフまたはフェールトトレラントではなく、また、ハイリスク環境における使用について信頼性や適性が意図、設計または検証されたものではなく、ViOneは、ハイリスク環境におけるいかなるクラウドサービスの利用に対しても、明示的または黙示的にもその適合性にかかる保証、条件または補償を明確に否定します。ViOneは、いかなるクラウドサービスもハイリスク環境における利用について、一切の行政機関、自主規制機関または標準設定機関もしくはその他の特定の産業または製品の認証機関による準拠テスト、認証または承認を得ているものではないことをお客さまに対して通知します。ハイリスク環境下においてクラウドサービスを使用するにあたって、お客さまは以下に同意するものとします。

- ハイリスク環境においてお客さまが導入するクラウドサービスの使用について適用法により要求されるすべての認証または許可を取得し維持すること
- ハイリスク環境においてお客さまによるクラウドサービスの安全な導入と利用を確保するために必要な適切な必要テスト、フェールセーフ、バックアップ、冗長性またはその他の対策を実施すること
- ハイリスク環境におけるクラウドサービスの一切のアクセス、導入、または利用は、お客さま自身の責任とリスクにおいてなされるものとし、お客さままたはその関連会社が現在および将来にViOneまたはその関連会社に対してする可能性のあるハイリスク環境におけるお客さまのクラウドサービスのアクセス、導入または利用に対する損失、費用またはあらゆる種類の損害または性質の損害または原因を取消不能な形で放棄するものとします。

2.10 適用法

本規約に基づくお客さまの義務の履行または権利の行使（お客さままたはお客さまの関連会社またはそれらの委託先によるクラウドサービスの使用または設定を含みますがこれらに限られません）の限りにおいて、お客さまは継続的にViOneに対して、お客さままたはお客さまの関連会社またはそれらの委託先が以下を行うことについて表明し保証します。

- すべての適用法（GDPRが適用される場合にはその限りにおいて適用され、またこれに限られません）を遵守し、すべての適用法に対する侵害、違反または非準拠になりうるかまたはトレンドに当該行為をさせるようなクラウドサービスの使用、設定またはViOneに対する指示を行わないこと
- 本規約にかかる適用法を遵守するために必要または推奨されるすべての許可、認証、承認、同意および検査を特定、取得するとともに維持すること

本条に起因または関連して本規約に違反しないことまたは違反があった場合、お客さまは直ちにお客さまの費用負担において適用法の違反または非遵守を是正するのに必要または適切な一切の措置を講じるものとします。

2.11 関連会社または委託先による使用

ライセンス証書に明示されるサービス範囲を超えない限りにおいて、ViOneはお客さまに対して以下について承認または許可する権利を付与します。

- ViOneの書面に承諾に基づき、お客さまの関連会社に対し、当該関連会社の内部業務使用に際してのクラウドサービスのアクセスまたは設定をすること
- お客さまの委託先にお客さまのビジネスをサポートし、テクニカルサポート、ホスティングサービスまたはアウトソーシングサービスの提供を目的とする場合、またはお客さまの内部業務使用に関連してお客さまの使用および利益のためにのみ、本規約に基づく制限および条件に従いクラウドサービスのアクセスまたは設定をすること

お客さまは、お客さまの関連会社および委託先に対して本規約（データ処理付属文書および標準契約条項を含む）を遵守することをViOneに対して保証するとともに、本規約に記載される条件に対するお客さまの関連会社または委託先の違反がお客さまの違反と見做されること、また、お客さまの関連会社または委託先による当該条件の違反に起因して生じるViOneの損害を賠償する責を負うことに同意するものとします。なお、すべてのサポートサービスはViOneからお客さまに対してのみ提供されるものとし、いかなる関連会社または委託先もViOneより直接のサポートサービスを要求しまたは受ける権利を有しません。

3. お客さまの責任

3.1 クラウドサービスのセットアップ、登録、管理者

お客さまは、クラウドサービスの設計、選択、設定および運用の確保、ならびに接続およびアクセスの確保および維持についてその責任を負うものとします。お客さまは、ViOneがクラウドサービスを提供するために必要または推奨されるすべての情報をViOneに提供するものとし、また、ViOneにより随時要求する事業者名および住所、主要連絡先の名前および情報、Eメールアドレスおよびその他の情報が必要とされる登録を許可するものとします。登録情報はお客さまの秘密情報として取り扱われます。サービス仕様書に従い、お客さまはViOneに対し、お客さまのクラウドサービスを管理し、設定を作成し、お客さまがサポートサービスを受けるのに必要な情報を提供することを承認されまたは許可された唯一の実利用者であるお客さまの管理者の最新の連絡先情報を提供するものとします。

3.2 認証資格

お客さまはクラウドサービスの実利用者、関連会社および委託先によるアクセスおよび使用を自身において管理するものとし、本規約のもとでお客さまのクラウドサービスアカウントによりなされたすべての行為について責任を負うものとします。お客さまはクラウドサービスのアクセスおよび使用にかかる非公開の認証資格を厳密に保持する責任を負うものとします。お客さまは、すべての実利用者には本規約に基づくお客さまの義務を遵守させるとともに、未承認使用者またはお客さまの関連会社や委託先などの第三者による本規約におけるお客さまの義務に対する違反または非遵守を知覚した場合、直ちに該当者のクラウドサービスのアクセスを停止するとともにViOneに通知するものとします。さらに、お客さまは、お客さまのシステム、ネットワーク、お客さまデータおよびその他のコンテンツ、情報およびデバイス、人員、メンテナンス、セキュリティ、保護、損失防止およびバックアップについて完全に責任を負うものとします。

3.3 インターネット接続

お客さまは、お客さまによるいかなるインターネットを介したデータ通信についてもViOneがその安全性を保証しないことを理解し同意するものとします。ViOneは、インターネット、ネットワークまたはViOneの管理外にあるシステムを介したいかなる妨害または中断についても責任を負いません。お客さまは、お客さまのネットワーク、サーバ、アプリケーションおよびアクセスコードの安全性を維持することについて完全に責任を負うものとします。

3.4 料金

お客さまは、お客さまが購入したサービス範囲に従いクラウドサービスのアクセスおよび使用について適用される料金を販売店または直接ViOneに対して適時支払うものとします。料金および適用されるすべての税金の請求および徴収は、販売店または直接ViOneにより適宜なされるものとします。7条または9条に明示的に定められる場合を除き、お客さまがクラウドサービスのアクセスおよび利用に対して支払う料金は、返金不可でありまた信用販売や相殺の対象とはなりません。ViOneは、その裁量によりいつでもViOneから直接購入されるクラウドサービスの料金を変更または修正する権利を留保します。

3.5 税金 - 直接注文

ViOneへの直接注文した場合の料金には、適用法に基づき現在または将来課される国内外の各種税金（以下総称して「税金」といいます）は含まれていません。

3.6 法令遵守、監査

クラウドサービスにクラウドサービスのアクセスおよび使用を検証する技術的機能がプログラムされている場合に限り、ViOneはお客さまおよび本規約に従いクラウドサービスへのアクセスまたは使用を認められたお客さまの

関連会社のクラウドサービスへのアクセスおよび使用を検証するシステム生成レポートを要求することができるものとし、お客さまは要求された日から 30 日以内にこれを提供するものとします。いかなる場合であっても、VicOne はその費用負担においてお客さままたはお客さまの関連会社の本規約の遵守を監査する権利を有するとともに、お客さまは VicOne が当該監査の実施を完遂するために合理的に必要な記録および情報を提供するものとします。監査の結果、お客さまが VicOne に対して追加料金の支払い義務を負うことが判明した結果には、お客さまは直ちに当該未払金を入金するものとします。お客さまは、VicOne が当該監査結果を販売店に開示することに同意するものとします。

4. お客さまデータ、オプション機能、個人データの保護、GDPR データ処理

4.1 お客さまデータに対する責任、お客さまデータを使用する権利、オプション機能

4.1.1 お客さまデータに対する責任

お客さまは すべてのお客さまデータの内容について完全な責任を負うとともに、適用法またはお客さまと第三者との合意により必要とされる限りにおいてお客さまが以下の措置を講じることが VicOne に継続的に表明するとともに同意します。

- お客さまデータについてすべての通知を行うとともに必要なすべての権利、同意および許可を取得し維持すること
- VicOne への送信または個人データを含むお客さまデータの提供、ならびに VicOne による当該お客さまデータの取得および使用を含むお客さまのクラウドサービスへのアクセスおよび使用（サポートサービスの利用を含む）の適法性を確保するための、適用法への違反、第三者の権利侵害または VicOne が第三者への義務を負うことを生じさせない、すべての必要な措置を講ずること

サポートサービスの提供を含む本規約に明示的に定められる場合を除き、VicOne はお客さまデータまたはお客さまのクラウドサービスの利用に対して一切の義務を負うものではありません。

4.1.2 お客さまデータを使用する権利

お客さまの設定によりお客さまデータの使用をオプトアウトする場合を除き、お客さまは、本条に従い VicOne がお客さまデータにアクセスし以下の目的で使用する限定的、非独占、無償の権利を許諾するものとします。

- VicOne がお客さまに対してクラウドサービスの提供およびサポートサービスの提供をするため
- クラウドサービスを含む VicOne のソフトウェアおよびサービスの運用、セキュリティ有効性および機能性を維持および向上させるため
- クラウドサービスの継続的な提供およびこれにかかる VicOne のデータベースの改善のために、潜在的なセキュリティリスク、マルウェアの媒介となりうる Web サイト、実行ファイルまたはコンテンツに関する URL を特定し情報を収集するため
- 本規約およびクラウドサービスの管理のため
- 適用法に基づき法的義務に遵守したその権利を行使するため
- 本規約および GLOBAL PRIVACY NOTICE に定めるその他の目的のため

4.1.3. お客さまによる設定

クラウドサービスには特定のオプション機能が含まれます。お客さまは、クラウドサービスの選択、お客さまによる設定、お客さまの設定がお客さまの要求、ポリシー、お客さまデータ（本条において GDPR データおよびパーソナルデータを含む）の処理手順に準拠していること、ならびにクラウドサービスまたはオプション機能の利用に関してお客さまがお客さまデータの処理する場合に各法域におけるすべての適用法を遵守することについて完全に責任を負うものとします。

お客さまは、クラウドサービス利用にあたって以下に同意するものとします。

- オプション機能の性能、機能およびサービス説明書に記載されているその他のすべての機能をレビューすること
 - お客さまの設定
- サービス仕様書に記載されているオプション機能、権限および管理上の選択項目を除き、クラウドサービスは VicOne が提供する標準サービスであり、個別のお客さまに追加または異なる設定等を提供することはありません。

4.2. 個人データの保護

クラウドサービスまたはサポートサービスは、適用法により個人データとなるデータを含むお客さまデータを受信するアプリケーションまたはツールを採用する場合があります。お客さまによる設定および本規約に基づく指示に従い、VicOne は個人データについてアクセス、受診、処理、複製、バックアップ、保管、転送および利用する場合があります。またそれらは欧州を含む各国の法域であってお客さまの居住国以外でなされる場合があります。VicOne は、各クラウドサービスに関連して提供される個人データを VicOne の管理下において不正アクセスや不正使用から保護するため技術的、組織的および管理上のセキュリティ対策を継続的に実施しています。VicOne は、自己の従業員に対し許可なく個人データにアクセスしたり使用したりすることを制限し、個人データの保護のために適切な義務をその従業員に対して課しています。

4.3. GDPR データ処理、当事者の関係

本規約に同意することにより、お客さまおよび VicOne は以下に合意し拘束されるものとします。

- データ処理付属文書
- 標準契約条項。

ただし、いずれもお客さままたはお客さまの関連会社が本規約に従い VicOne に提供した GDPR データ（その他のお客さまデータまたはパーソナルデータは除きます）について VicOne が処理者または副処理者となる場合にのみ適用されます。

お客さまは、お客さまの関連会社に代わってデータ処理付属文書および標準契約条項に合意し拘束されるものとし、またお客さまが正当な権限を有するとともに当該権限を有効に行使するためにお客さまおよびすべての関連会社がすべての必要な措置を講じていることを VicOne に対して表明し保証するものとします。

5. サポートサービス、サービス利用ソフトウェアのアップデート

5.1 サポートサービス

VicOne は、VicOne 所定の内容にてお客さまに対し、Web サイト <https://www.vicone.com/contact-us> 記載のユーザサポートサービス（以下本条において「スタンダードサポート」といいます）を提供します。なお、お客様は、VicOne がお客様のリクエストに因らず VicOne の判断によりスタンダードサポートを提供する場合があります。スタンダードサポートの提供に関する VicOne の義務は、スタンダードサポートに関する合理的な努力を行うことに限られるものとします。

5.2 サービス利用ソフトウェアのアップデート

VicOne はその数量によりサービス利用ソフトウェアを定期的にアップデートする場合があります。当該アップデートには、バグフィックス、新機能または機能強化が含まれる場合があります。お客さまはお客さまの責任において当該アップデートを可能な限り速やかに適用するものとします。VicOne の義務は、お客さまのサービス利用ソフトウェアの速やかなアップデートの状況に応じて、サービス仕様書および本規約に継続的に準拠するサービス利用ソフトウェアおよびクラウドサービスにかかるサポートサービスを提供することとします。

6.1. 守秘義務、秘密保持

お客さまおよび VicOne は、本契約に関連して知り得た情報（ライセンス製品のアクティベーションコードおよびライセンスキー、スタンダードサポートに関連する電話番号、ファックス番号、メールアドレス、URL ならびにサポートサービスの一環としてコンピュータネットワークを介して提供される情報内容を含みます）につき、相手方の書面による承諾を得ることなく第三者に開示、漏洩しないものとし、かつ、本契約における義務の履行または権利の行使に必要な場合を除き方法を問わず利用しないものとします。国家機関の命令に基づき開示する場合はこの限りではありませんが、その場合には相手方に対して速やかに事前の通知を行うものとします。ただし、なお、以下各号に定める事項については本条の適用を受けません。

- 開示を受けた時に既に公知である情報
- 開示を受けた後、自己の責によらず公知となった情報
- 開示を受ける前から、自己が適法に保有している情報
- 第三者から、守秘義務を負わず適法に入手した情報
- 相手方の機密情報を使用または参照することなく独自に開発した情報

6.2. フィードバック

本規約にこれと定める定めがあっても

- VicOne は、クラウドサービスフィードバックに対して一切の義務を負いません
- VicOne、VicOne の関連会社およびそのライセンサーは、現在および将来のクラウドサービスフィードバックに含まれるアイデア、コンセプト、ノウハウまたは技術の全部または一部を使用する永久、取消不能、ロイヤリティフリーの権利および許諾をお客さまから付与され、(i) クラウドサービスフィードバックの全部または一部を含む VicOne 製品またはサービスの開発、二次著作物の生成、生産、改良、性能の向上、製造、頒布またはマーケティングを含む如何なる目的においても使用すると、(ii) 当該権利および許諾は、ライセンス料、ロイヤリティまたはその他の約因を含む一切の制限を有さないものとします。

6.3 個人情報の取り扱いについて

お客様は、VicOne が、VicOne の製品、サービスおよびサポートサービスの提供にかかる業務の委託、VicOne の製品またはサービスの品質改善および開発等を目的として、お客様の個人データをトレンドマイクロおよびその海外子会社および海外関連会社もしくは海外委託先に提供する場合があります。なおその詳細については、<https://vicone.com/jp/privacy-policy> に定めるものとします。お客様は、VicOne が VicOne の「個人情報保護方針」<https://vicone.com/jp/privacy-policy> に従ってお客様の個人情報を取り扱うことに同意するものとします。

7. 保証および責任の限定

VicOne は、クラウドサービス、サービス利用ソフトウェア、サービス仕様書またはサポートサービスに関して一切の保証を行いません。また、VicOne は、クラウドサービスの機能、サービス利用ソフトウェア、サービス仕様書、サービス範囲、サービス仕様書に記載される内容またはサポートサービスの内容またはお客さまの特定の目的に適合することを保証するものではありません。

5.1 条に定めるユーザ登録もしくはユーザ登録変更の届出がなされない場合またはその内容に不備がある場合、VicOne からお客さまへの通知、郵送およびその他のコンタクトの不達により生じる不利益ならびに損害は、お客さまの責任となります。お客さまが期待する成果を得るためのクラウドサービス（サービス利用ソフトウェアおよびサポートサービスを含みますがその限りではありません）の選択、導入、使用および使用結果については、お客さまの責任となります。クラウドサービス、サービス利用ソフトウェア、サービス仕様書またはサポートサービス、ならびに 8.2 条および 10.8 条によりクラウドサービスもしくはサポートサービスの提供を受けられないことに起因してお客さまはその他の第三者に生じた損害、付随的損害、逸失利益、予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害およびデータ・プログラムなど無体物の損害、ならびに第三者からの損害賠償請求に基づくお客さまの損害に関して VicOne は一切の責任を負いません。本規約のもとで理由の如何を問わず VicOne がお客さままたはその他の第三者に対して負担する責任の総額は、損害が生じる直前の 1 年間に本規約のもとでお客さまが実際に支払われたクラウドサービスに関する利用料金を上回るとします。なお、VicOne の故意または重大過失によりお客さまに損害が生じた場合はその限りではありません。

8. 期間および終了

8.1 期間

本規約およびお客さまのクラウドサービスへのアクセスは、本規約に従い終了または解除されない限り、ライセンス証書または各クラウドサービスの管理コンソールに明示される期間中有効です。

8.2 VicOne による停止および解除

VicOne は以下に掲げる場合、書面による通知をもっていつでもお客さまによるクラウドサービスの利用を中止または終了できるものとします。

- お客さま、お客さまの関連会社、クラウドサービスの実利用者が
 - クラウドサービスまたは第三者に対してセキュリティリスクを引き起こしている場合
 - クラウドサービスまたは第三者に対して悪影響を及ぼす可能性がある場合
 - 2.8 条に違反している場合
 - VicOne、VicOne の関連会社、VicOne のライセンサーまたは他の第三者に債務を負わせる可能性がある場合
- お客さまが、本規約に違反した場合

お客さまは、停止期間中または本規約の終了時、当該通知の対象となるクラウドサービスの利用を停止するものとします。本条による VicOne による終了または中止について、VicOne は料金の返金または減額について一切の義務を負わないものとします。

8.3. お客さまによる終了

お客さまは、VicOne へ書面通知することによりいつでも本規約またはお客さまのクラウドサービスの利用を終了することができます。この場合、お客さまは当該クラウドサービスにかかる支払い済み料金の返金または減額を受けることはできません。

ただし、VicOne による本規約への重大な違反に起因する場合であって、お客さまが VicOne に対して 20 日以上前に書面により違反の詳細を通知したにもかかわらず当該通知期間中に VicOne による是正がなされなかった場合に限り、お客さまは、クラウドサービスのアクセスにかかる支払い済み料金のうち未使用分について VicOne より返金を受ける権利を有します。

8.4. お客さまの終了時の義務

理由の如何を問わず、本規約またはお客さまのクラウドサービスの利用が満了または終了した場合には、お客さまはクラウドサービスのすべてのアクセスおよび使用を停止する義務を負うものとします。

解約は、お客さまの未払いの料金や税金の支払い義務を免除するものではありません。

8.5. 存続条項

本規約が終了または満了した場合であっても、1 条、2.2 条、2.3 条、2.4 条、2.5 条、2.8 条、2.9 条、2.10 条、2.11 条、3 条、4 条、6 条、7 条、8 条、9 条、10 条および 11 条およびその他本規約の満了または終了後も当該条件が存続することを明示している条項は、理由の如何を問わず、当該終了または満了以降も存続するものとします。

9. 知的財産権

9.1 IP クレーム補償

VicOne は、自己の費用において各 IP クレームからお客さまを防御するものとし、当該 IP クレームに帰属または当該 IP クレームの金銭的和解において VicOne が合意した金額に起因してお客さまに対して裁定された費用および損害について、本条における条件に従いお客さまに補償します。

VicOneによる明示的な書面同意のない限り、お客さまはIPクレームの和解をしないものとし、VicOneは当該和解がされた場合は一切の責任を負いません。なお、お客さまがトレンドに対して以下を提供しない場合、トレンドは各IPクレームに関する9条の義務を負いません。

(a) すべてのIPクレームについて速やかに書面通知すること。VicOneがその対応をするのに十分な時間内に通知するものとします。お客さまが通知を怠った場合は、これによりVicOneが不利益を受けた限りにおいてその補償義務を免れるものとします。

(b) 当該IPクレームの防御、交渉および和解に関する単独、完全な管理および権限

(c) 当該IPクレームの防御、交渉または和解に関してVicOneよりVicOneの費用負担で合理的に要求された情報、協力および支援
お客さまの同意なく、VicOneは当該IPクレームまたは支払いにかかるお客さまの責任を認めるようなIPクレームの和解は一切しません。お客さまは、自己の費用でまたお客さまの選任した弁護士によりVicOneのIPクレームの防御に参加することができます。なお、本補償はお客さま単独に認められるものであっていかなる第三者へもその全部または一部を譲渡またはその他の方法で移転することはできません。

9.2 IPクレームの軽減

クラウドサービスがIPクレームの対象となった場合またはVicOneが対象となりうると判断した場合、VicOneはその裁量により以下の措置をとることができるものとします。

(a) 本規約に基づき当該クラウドサービスを継続して使用する権利をお客さまに提供すること

(b) 実質的に同等のユーティリティ、修正されないユーティリティの機能または機能を維持しつつIPクレームの対象にならないように当該クラウドサービスを修正すること

VicOneは、前記(a)または(b)のいずれもトレンドが商業的に実行できないと判断する場合、書面通知をもって本規約を終了することができるものとし、この場合、お客さまはクラウドサービスの使用を中止し、サービス利用ソフトウェアおよびその資料のすべてのコピーを返却、アンインストールまたは復元不可能な方法で破壊するものとします。これをもってVicOneは、速やかにお客さまが当該クラウドサービスに対して支払い済み料金のうち未使用分をお客さまに対し返金します。

9条に従った本規約の終了はVicOneによる本規約への違反にはあたるものではなく、クラウドサービスの移転費用または使用権の喪失を含め当該終了に起因したまたは関連する一切の損害、損失または費用、逸失利益、収益の損失を請求する権利をお客さまが有するものではありません。

本条は、IPクレームについてのVicOneの唯一かつ排他的な義務およびお客さまへの責任ならびにお客さまのVicOneに対する唯一かつ排他的な権利および救済措置を定めるものです。

9条に定められる場合を除き、クラウドサービスについてVicOneがお客さま、お客さまの関連会社に対し一切補償の義務を負うことはありません。なお、本規約に本条と異なる定めがあっても、VicOneの責任は、9条によりVicOneにより支払われべき金銭の範囲は7条による制限を受けません。

10. 一般事項

10.1 権利または義務の譲渡、再許諾、再委託

お客さまはVicOneの事前の書面による承諾なしに、本規約の全部または一部を譲渡したり、本規約に基づくお客さまの権利を譲渡したり、再許諾したりすることはできません。本10.1条に違反してされた譲渡または移転は無効となります。VicOneは、VicOneの裁量により、お客さまに通知することなく、VicOneが本規約をVicOneの関連会社に譲渡し、またはVicOneの義務の履行をVicOneの関連会社もしくは下請業者に譲渡もしくは再許諾できるものとし、VicOneは、当該者に対して自己が負う責任と同等の責任を課すとともに当該者による当該義務の履行についてその責任を負うものとします。

10.2 解釈

本規約の見出しは便宜上のものであって、本規約の解釈に影響を与えるものではありません。文中の例示は、単に例示するのみであって例示の対象となる語句の解釈を制限するものではありません。

10.3 権利放棄の否定

当事者が本規約に定める条項について権利行使しなかったことをもって、現在または将来の当該条項にかかる権利放棄とみなされることも将来の当該条項にかかる権利が制限されることもありません。有効に権利放棄するためには、書面により該当条項および権利放棄の対象となる履行または不履行を特定したうえで両当事者が署名または記名捺印しなければならないものとします。

10.4 輸出/輸入管理

本規約に関するクラウドサービスならびにこれに関連する技術データおよびサービス（総称して「管理技術」）へのアクセス、使用、輸出または再輸出には、お客さま、お客さまの関連会社、委託先または実利用者による管理技術の輸出（「みなし輸出」および「みなし再輸出」規則を含む）および輸入に関する適用法が適用されます。クラウドサービスは、地理的位置に関わらずお客さま、お客さまの関連会社、委託先、またはその実利用者がアクセスすることができ、お客さまはクラウドサービスへのアクセスにおいて世界中のお客さまの関連会社、委託先、または実利用者との間で、お客さまデータを転送またはその他の方法で移転できるよう設計されています。お客さまは、実利用者のアカウントの承認と管理、およびクラウドサービスに関連したお客さまデータの輸出/輸入管理と地理的転送についてすべての責任を負うものとします。お客さまは、お客さまの関連会社、委託先、および/またはその実利用者による管理技術の直接/間接的な輸出、再輸出、または輸入、ならびにお客さま、お客さまの関連会社、委託先、またはその実利用者の本規約に適用される現在または将来有効な適用法を常に遵守するものとします。

(a) ライセンスが要求されるかまたは他の方法により禁止された管理対象技術の輸出、再輸出、輸入、転用、または開示

(b) 特定の国または特定の人物または制限されている特定の技術/商品/サービスの販売、使用またはこれらへのアクセス

(c) 核兵器、化学兵器または生物兵器、ミサイル、またはその他の大量破壊兵器の開発、生産、使用、または拡散に関連する禁止または制限されている管理対象技術の最終的な使用

お客さまは、お客さま、お客さまの関連会社、委託先、および実利用者が、禁輸措置または適用される現在または将来有効な適用法に適用される国または地域の居住者または国民ではないこと、ならびに適用法で定義される禁止される人物または事業体ではないことを、VicOneに表明し保証するものとします。

10.5 政府機関による使用

クラウドサービス（コンポーネントソフトウェアを含みます）およびそれに付随するサービス仕様書は、VicOne、その供給者またはライセンサーの費用において開発されたものであり、市販品、市販コンピュータソフトウェア、市販ハードウェア、技術文書、および/または市販サービス説明書から構成され、クラウドサービスに一般的に適用されるのと同じ権利および制限を有しています。

政府機関によるクラウドサービスへのアクセスおよび使用は、強制的な適用法の対象となる場合があります。ただし、上記2.1条で付与されるクラウドサービスへのアクセス権および使用権を除き、政府機関に対して、ソフトウェア、ハードウェア、バイナリコード、またはサービス（またはアップデートおよび文書）に関する権利、権原、または利益が、本規約に基づき付与または譲渡されることはありません。政府機関が、本規約で付与される権利以外にクラウドサービスへのアクセスおよび使用についてより広範な権利または異なる権利を要する場合は、両当事者は、かかる追加の要件およびそれに適用される追加料金について協議し、書面により合意するものとします。本10.5条において、「政府機関」とは、本規約に基づくクラウドサービスにアクセスおよび/または使用する権利のために販売店を介して注文する国、連邦、州、州、自治体、または地方の機関または事業体を意味します。

10.6 通知

10.6.1 お客さまへの通知

VicOneは、本規約に基づき、法的な通知ならびに製品またはサポートに関する通知に際して、お客さまのアカウントに紐づくメールアドレスにメッセージを送信する方法にてお客様に通知することがあります。

当該通知は、VicOneが電子メールを送信した時点で有効となります。お客さまはお客さまの責任においてメールアドレスを最新の状態に保つものとします。

10.7 分権可能性、執行

両当事者は、本規約のいずれかの条項の執行不能または無効性が、本規約の他の部分の執行可能性または有効性を損なうものではないことに同意するものとします。本規約のいずれかの条項が、本規約の準拠法に抵触する場合、または当該条項の全部または一部が当事者間の裁判所によって無効または執行不能とされた場合、両当事者はかかる決定をなした裁判所が権限を有することに同意し、かかる裁判所に対して、当該執行不能な条項を完全に切断する代わりに、本規約のかかる執行不能な条項を改訂、修正、または置き換えること、問題のある条項を書き換えること、当該条項の一部または全部を削除すること、本規約に追加の文言を追加すること、またはその他の本規約のもとで有効かつ執行可能な両当事者の間の意図に最も近い合法的な表現への適切な変更を行う権限を行使することを要求するものとします。

10.8 不可抗力免責事象

VicOneは、不可抗力免責事象に起因する本規約上の義務の履行遅滞または不履行について一切の責任を負いません。VicOneは、(a) 不可抗力免責事象に関連する遅滞または不履行を最小限に抑えるために商業的に合理的な措置を講じ、(b) 不可抗力免責事象の性質および予想される期間について速やかにお客さまに書面通知します。本条は、通常の障害復旧手順に従って合理的な措置を講じるVicOneの義務を免除するものではありません。VicOneは、不可抗力免責事象が取り除かれるか合理的に回避された次第、速やかに影響を受けた義務の履行を再開します。両当事者は、不可抗力免責事象に起因または関連して発生した遅滞または不履行が、VicOneによる本規約への違反にあたることに同意するものとします。

10.9 契約当事者の関係

本規約のいかなる内容も、両当事者間に代理店、パートナーシップ、またはジョイントベンチャー等の関係を構築するものではなく、またそのように解釈されるものでもありません。両当事者はそのような関係を明示的に否認し、本規約の下で独立した契約者としてのみ行為していること、互いに善良なる管理者の注意義務、または本規約に明示されない他の特別または黙示的な義務を負わないことに同意するものとします。いずれの当事者も、相手当事者または相手当事者の関連会社の代理人として行動したり、相手当事者または相手当事者の関連会社の名義において義務を負ったりする権限を有さないものとします。

10.10 第三者利益事項

本規約においてVicOneに適用されるすべての免責、損害賠償および救済措置の制限、責任の排除および制限は、VicOneの関連会社、供給者およびライセンサーにも第三者受益者として適用されるものとします。当該第三者受益者を除き、本規約は、両当事者間の利益のためにのみ締結され、両当事者のみが行使可能であって、いかなる第三者も本規約に基づく権利または利益を有するものではありません。前記の場合を除き、本規約は、当事者の従業員、コンサルタント、代理店、供給者、および当事者の関連会社を含む第三者のためまたは第三者に代わって明示的または黙示的な権利、救済、利益、請求、または法律上の訴訟原因を発生させ、または第三者に対して一切の義務を発生させるものではありません。ただし、本規約の定めにかかわらず、VicOneの関連会社、ライセンサーおよび販売店は、2.8条、2.9条および7条に記載されているクラウドサービスに関する除外事項および制限事項および免責事項に該当する第三者受益者であるものとします。

10.11 反社会的勢力の排除

お客さまが、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標榜グループもしくは特殊知能暴力集団等その他これらに準じる者（以下「暴力団等」という）に該当する、または次の各号のいずれかに該当することが判明した場合、VicOneは本規約を解除することができます。

(a) 暴力団等が経営を支配しているまたは経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること

(b) 自己もしくは第三者を管轄する目的に第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団等を利用していると認められる関係を有すること

(c) 暴力団等に対して資金的に提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること

(d) 役員または経営に実質的に関与している者が、暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること

また、お客さまが自らもしくは第三者を利用して、次の各号に掲げるいずれかの行為を行う、またはその恐れがあるとVicOneが判断した場合、VicOneは本規約を解除することができます。

(a) 詐術、暴力的行為、または脅迫的言辭を用いる行為

(b) 違法行為または不当要求行為

(c) 業務を妨害する行為

(d) 名誉や信用等を毀損する行為

(e) その他各号に準ずる行為

10.12 本規約の改訂

VicOneは、その裁量によりいつでも本規約の内容を変更できるものとし、最新の本規約内容をVicOneのWebサイトに掲載します。ただし当該変更は、有効なサブスクリプション期間中のお客さまについては、VicOneのWebサイト(https://vicone.com/jp/eula)において当該変更された最新の本規約内容が掲載されてから60日後に有効になるものとします。従前本規約の内容はその最新版の発効によって無効となり、最新の本規約の内容が適用されるものとします。お客さまが変更後の条件に同意できない場合、お客さまはクラウドサービスを利用することはできません。

11. 準拠法、裁判管轄

本規約は、日本国法に準拠するものとします。本規約に起因する紛争の解決については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。